

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和元年度】

主管課名(担当名)	市民環境課(環境衛生担当)		
事務事業名	自然の番人推進事業	事業番号	12009
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-1 環境保全の推進
	施策目標	快適な生活環境と自然が調和したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	全市民
	対象者の今後の予想	全市民及び根室市訪問者
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	不法投棄防止の啓発活動や環境教育の実施、本事業への賛助団体の拡大及び他市町村その広域な連携を図る。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	ごみの散乱や犬のふんの放置をなくし、より快適で潤いのある都市環境づくりを目指す。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H27	H28	H29	H30	R1		
1 不法投棄の件数	14件	14件	18件	13件	12件	16件	0件	0件
2 ねむろ自然の番人宣言賛助団体数	19団体	19団体	19団体	19団体	21団体	31団体	45団体	70団体
3								
4								
事業費(=下記内訳計)					R1予算		R2予算	
					208		167	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他				208	167	244	
	一般財源				0	0	0	
人員(人工)					0.30	0.30	0.30	
職員人件費(=人員(人工)×7,693千円)					2,308	2,308	2,308	
総事業費(=事業費+職員人件費)					2,516	2,475	2,552	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					157	155		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					81	80		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	関係法令(廃棄物処理法)や根室市ポイ捨て等防止条例、「ねむろの自然の番人」事業等、不法投棄防止に関する効果的な市民周知・啓発方法を検討する。
今後の動向・市民ニーズなど	より快適で潤いのある都市環境づくり、ひいては環境にやさしい魅力ある街づくりが望まれる。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない 街をきれいにする、ごみのポイ捨てをしないと意識や関心を持つ市民が増加しつつある。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	□可能 ■一部可能 □不可能 学校における教育学習の一環や、企業・団体の奉仕活動により、ごみ拾いや環境に関する取り組みが実施されている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある ■一部ある □ない 廃棄物処理法に不法投棄の罰則規定もあることから、全ての市民に不法投棄に関する見聞を、より効果的に広く周知する方法が必要である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある □一部ある ■ない 市民に対して広く継続的に啓発することが重要であることから、当面は事業費の削減は困難である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 本事業については、平成27年度に本事業と清掃総務事務経費(環境美化促進事業)を統合したものである。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある 市民への周知・啓発を主とした目的としているため、市民負担は生じない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続(□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり(R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

令和2年6月